

ポスター発表

発表時間 奇数番 9月16日(月・祝) 11:00~12:00
偶数番 9月16日(月・祝) 12:00~13:00

果 樹

- P001 シングルステップ法によるカンキツ果実形質のゲノム育種価予測
○今井篤^{1,6}・國賀武^{1,2}・吉岡照高^{1,2}・野中圭介¹・三谷宣仁¹・深町浩¹・稗圃直史^{1,3}・山本雅史^{1,4}・林武司^{5,6}
(¹農研機構果樹茶部門,²農研機構西日本農研,³長崎農技セ,⁴鹿児島大農学部,⁵農研機構次世代作物セ,
⁶筑波大院生命環境科学)
- P002 ウンシュウミカン二倍体と四倍体間における果実品質と抗酸化能の比較
菊池紘平¹・○戸村大河¹・八幡昌紀²・國武久登³・安田喜一¹ (¹東海大農学部,²静岡大農学部,³宮崎大農学部)
- P003 ブンタン‘晚白柚’由来の半数体の形態的特徴
○田口諒¹・周藤美希²・成瀬博規²・富永晃好¹・向井啓雄¹・安田喜一³・國武久登⁴・八幡昌紀¹
(¹静岡大農学部,²静岡大技術部,³東海大農学部,⁴宮崎大農学部)
- P004 カンキツ新品種‘はるき’
○田嶋皓・中地克之・宮井良介・岩倉拓哉 (和歌山果樹試)
- P005 重粒子線局所照射によるカンキツの突然変異体誘発
○松山知樹^{1,4}・下川卓志²・北村尚³・戎崎俊一¹・和田智之⁴・八幡昌紀⁵
(¹理研開拓研究本部,⁴理研光量子,²量研放医研,³量研被ばく医療,⁵静岡大農学部)
- P006 ウンシュウミカン‘早味かん’若木の双幹形仕立てにおける樹体生育, 収量, 果実品質および作業性
○谷川宏行¹・豊福ユカリ²・藤島宏之¹ (¹福岡農林総試,²福岡朝倉普セ)
- P007 ビワ種子における活性型ジベレリンは早期11β位水酸化経路で生成される
○柴山佳之¹・東未来²・百瀬博文²・中山真義³・腰岡政二^{1,2}
(¹日本大院生物資源科学研究科,²日本大生物資源科学部,³農研機構野菜花き部門)
- P008 リンゴ高接病感受性原因遺伝子 *CVI* のファインマッピングと *CV2* への上位性
○北本尚子^{1,2}・森谷茂樹¹・岡田和馬¹・清水拓¹・伊藤伝¹・阿部和幸¹ (¹農研機構果樹茶部門,²秋田県大)
- P009 リンゴの自家摘果性と頂芽側花数の品種間差および遺伝資源の探索
○金丸京平¹・前島勤²・小川秀和¹ (¹長野果樹試,²長野南信試)
- P010 ニホンナシ新品種‘玉水’
渡邊辰彦^{1,2}・石坂晃^{1,3}・池上秀利^{1,4}・○瀬戸山安由美¹・粟村光男^{1,5}・千々和浩幸¹・栗原実¹・松本和紀^{1,6}・藤島宏之¹・
牛島孝策^{1,6}・古澤典子¹
(¹福岡農林総試,²福岡農林水産政策課,³福岡飯塚普セ,⁴福岡農林総試豊前分場,⁵福岡小麦品質改善協会,
⁶福岡農林総試資源セ)
- P011 ナシ成木にジョイント接ぎ木した若木由来の素索動態について
○島田智人¹・井上博道²・柴崎茜¹・須賀昭雄³ (¹埼玉農技研セ,²農研機構果樹茶部門,³埼玉川越農林振セ)
- P012 ニホンナシにおける取り木に関する研究
○居城幸夫^{1,2}・小林知徳¹ (¹宇都宮大農学部附属農場,²新潟食料農業大食料産業学部)
- P013 1-ナフトレン酢酸によるニホンナシ自家和合性品種に対する摘果効果
○和田響己¹・松本辰也²・根津潔²・萩原正次¹ (¹新潟農業大学校,²新潟園研セ)
- P014 ニホンナシ2品種間において白一重袋の使用が果実品質に及ぼす影響の差異
○岩谷章生¹・藤丸治²・平本恵¹・北村光康¹ (¹熊本農研セ果樹研,²熊本農林水産部)
- P015 ニホンナシの自発休眠期における一過的高温処理の影響
○田井瑞希¹・木之瀬翔¹・成瀬博規²・周藤美希²・八幡昌紀¹・富永晃好¹ (¹静岡大農学部,²静岡大技術部)
- P016 ニホンナシ‘幸水’に対する秋季のABA処理が耐凍性および開花に及ぼす影響
○古澤典子¹・瀬戸山安由美¹・渡邊辰彦^{1,3}・藤島宏之¹・伊東明子^{2,4}
(¹福岡農林総試,²農研機構果樹茶部門,³福岡県農林水産部,⁴農研機構本部)
- P017 セイヨウナシ‘ルレクチエ’のジョイントV字樹形における栽培性
○根津潔・松本辰也 (新潟農総研園研セ)
- P018 山梨県における欧州系醸造用ブドウ品種・系統の果実特性およびワイン特性
○三森真里子・雨宮秀仁・上野俊人 (山梨果樹試)

- P019 ブドウ ‘シャインマスカット’ および ‘ピオーネ’ の短梢剪定栽培における単純な新梢管理方法
○塩谷諭史¹・宇土幸伸¹・里吉友貴² (¹山梨果樹試,²山梨県庁)
- P020 異なる LAI 水準および果実袋の違いが ‘シャインマスカット’ の果実品質におよぼす影響
○濱田美智雄・白石美樹夫・朝隈英昭 (福岡農林総試)
- P021 海上輸送によりシンガポールに輸出したブドウの果実品質
手塚誉裕・○加藤治・國友義博・野田浩紀・望月孝一 (山梨果樹試)
- P022 硬肉モモにおける収穫期の把握と収穫期の果実の特徴
○新谷勝広・秋山友了 (山梨果試)
- P023 山梨県におけるモモ枯死障害の現地発生実態
○富田晃¹・池田博彦¹・萩原栄揮²・綿打享子¹・内田一秀¹・手塚誉裕¹・加藤治¹・國友義博¹・那須英夫³
(¹山梨果樹試,²山梨県果樹6次産業振興課,³日植防岡山)
- P024 低温要求量の少ない早生モモ品種 ‘KU-PP1’ および ‘KU-PP2’ の胚培養
○シカンダカサミタパナワット・片岡郁雄・別府賢治 (香川大農学部)
- P025 モモ中晩性品種の大王比率を高める着果調節方法
○池田博彦¹・萩原栄揮²・富田晃¹ (¹山梨果樹試,²山梨果樹・6次産業振興課)
- P026 モモ主要栽培品種のせん孔細菌病発病程度の品種間差異
○末貞佑子・澤村豊・八重垣英明 (農研機構果樹茶部門)
- P027 ウメ ‘露茜’ の幼木期における枝梢管理およびかん水量の違いが樹体生育に及ぼす影響
仲慶晃・○稲葉有里・城村徳明・大江孝明 (和歌山果樹試うめ研)
- P028 コスカシバに対する交信かく乱剤の現地実証試験
○江畑真美・中一晃・貴志学 (和歌山果樹試うめ研)
- P029 遮光処理の時期の違いがニホンスモモ ‘貴陽’ 果実の品質に及ぼす影響
○杉山喜一¹・周藤美希²・小林孝徳¹・曾根良輔¹・成瀬博規²・富永晃好¹・向井啓雄¹・切岩祥和¹・八幡昌紀¹
(¹静岡大農学部,²静岡大技術部)
- P030 遮光処理の時期の違いがニホンスモモ ‘貴陽’ 果実のネット発生に及ぼす影響
○藤崎萌夏¹・周藤美希²・八幡昌紀¹ (¹静岡大農学部,²静岡大技術部)
- P031 カキの果実発達を制御する遺伝子発現ネットワーク
○西山総一郎¹・尾上典之²・河野淳²・佐藤明彦²・米森敬三³・田尾龍太郎¹
(¹京都大院農学研究科,²農研機構果樹茶部門,³龍谷大農学部)
- P032 カキ ‘早秋’ および ‘富有’ のジョイント V 字樹形における摘蕾, 摘果, 収穫, せん定の省力化
○朝隈英昭・白石美樹夫・濱田美智雄・千々和浩幸 (福岡農林総試)
- P033 カキ ‘甲州百目’ 大苗定植後の摘蕾の有無が着蕾数と収量に及ぼす影響
○杉村輝彦¹・辻本誠幸²・林良考²・上田直也¹・市川胤記³ (¹奈良農研セ,²奈良県南部農林振興事務所,³奈良県庁)
- P034 カキ ‘八秋’ 由来の易発根性系統の選抜
○薬師寺博・西村遼太郎・松崎隆介・山崎安津・杉浦裕義 (農研機構果樹茶部門)
- P035 樹園地における土壌中セシウム 137 の垂直分布に対するイノシシ攪乱の影響
○高田大輔¹・芝祥太郎²・佐藤守¹ (¹福島大農学群,²福島農総セ果樹研)
- P036 キウイフルーツ育種における DNA マーカーを用いたマタタビ属植物の雌雄判別法
○濱野康平¹・村上恭子²・赤木剛士³・真鍋徹郎¹・福田哲生¹
(¹香川農試府中果樹研,²香川農試,³岡山大院環境生命科学研究所)
- P037 シマサルナシおよびシマサルナシとチネンシス種キウイフルーツの種間交雑実生を用いた染色体倍加
○松岡真希・松村優花・別府賢治・片岡郁雄 (香川大農学部)
- P038 マタタビ属両性花系統の発生起源の特定および形態学的特徴の観察
○島尾周作¹・赤木剛士²・別府賢治³・片岡郁雄³・田尾龍太郎¹
(¹京都大院農学研究科,²岡山大院環境生命科学研究所,³香川大農学部)
- P039 低温要求量の極めて少ないシマサルナシ自生系統のキウイフルーツ育種への利用
○片岡郁雄・富本卓・別府賢治 (香川大農学部)
- P040 スノキ属在来野生種ナガボナツハゼ *in vitro* シュートへのコルヒチンおよびオリザリン処理が四倍体誘導に及ぼす影響
○古田真子・香取千文・橋本望・周藤美希・富永晃好・向井啓雄・八幡昌紀 (静岡農学部)
- P041 ハイブッシュブルーベリーにおいて夏秋季開花する新梢中の C/N 率, アブシジン酸およびサイトカイニン濃度
○渡邊学¹・熊谷初美²・村上政伸¹・小森貞男³・村野宏達⁴・窪田聡⁵
(¹岩手大農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育研セ,²岩手大院連合農学研究科,³岩手大農,⁴名城大農,⁵日本大生物資源科学部)

P042 ジューンベリー果実のアントシアニンとカロテノイド色素

○渡辺慶一・久野桜子・神山拓也・水野真二・上吉原祐亮・立石亮・新町文絵（日本大生物資源科学部）

野 菜

P043 多収で極晩生の一季成り性イチゴ盛岡 36 号

○本城正憲¹・片岡園^{1,2}・由比進^{1,3}・塚崎光¹・細田洋一⁴・對馬由記子⁴・東秀典⁴・
伊藤篤史⁴・山田修⁵・鈴木朋代⁵・佐藤友博⁶・伊藤聡子⁷・藤島弘行⁷・山崎紀子⁷
(¹農研機構東北農研,²農研機構野菜花き部門,³岩手大,⁴青森産技セ,⁵岩手農研,⁶秋田農試,⁷山形県)

P044 イチゴ新品種‘栃木 i37 号’の育成

○飯村一成¹・小林泰弘²・重野貴²・大橋隆³・畠山昭嗣³・斎藤容徳¹・鶴見理沙¹・小島夏実¹
(¹栃木農試,²下都賀農振,³塩谷南那須農振)

P045 イチゴ新品種‘栃木 iW 1 号’‘栃木 i37 号’の香りの評価

○鶴見理沙¹・大橋隆²・飯村一成¹ (¹栃木農試,²塩谷南那須農振)

P046 イチゴ種子繁殖型品種‘よつぼし’の発芽に及ぼす種子の保管条件の影響

○北村八祥・丹羽千紘・小堀純奈・森利樹（三重農研）

P047 寒冷地における種子繁殖型イチゴ品種‘よつぼし’の本圃直接定植法の定植時期の検討（第 2 報）

○鈴木朋代・漆原昌二（岩手農研セ）

P048 イチゴ種子繁殖型品種‘よつぼし’の本圃直接定植法におけるランナー子株利用技術

○今村仁・壇和弘・日高功太・高山智光・沖村誠（農研機構九沖農研）

P049 イチゴ新品種‘佐賀 i9 号（いちごさん）’の窒素吸収特性

○富永慧¹・福田敬²・大串和義³・伊藤優佑¹ (¹佐賀農試研セ,²佐賀首都圏事務所,³東松浦農改普セ)

P050 レトロトランスポゾン挿入多型を用いたイチゴ‘佐賀 i9 号（いちごさん）’の品種識別

○木下剛仁・西美友紀・友貞俊成（佐賀農試研セ）

P051 散光性フィルム被覆がイチゴ‘にこにこベリー’の生育と収量に及ぼす影響

○高山詩織¹・櫻井晃治¹・戸崎雄太² (¹宮城農園研,²タキロンシーアイ（株）)

P052 複合環境制御下での促成イチゴ栽培における定植年内の収量

○矢野孝喜¹・山中良祐¹・吉越恆¹・川嶋浩樹¹・安場健一郎²・吉田裕一²
(¹農研機構西日本農研,²岡山大院環境生命科学研究科)

P053 適時補光がイチゴ果実の品質および収量に及ぼす影響

○壇和弘・日高功太・今村仁・鴨志田葵（農研機構九沖農研）

P054 アセチルシステインの施肥が‘すずあかね’の乾物生産に及ぼす影響

○小林拓朗¹・米津幸雄²・岡山毅¹・井上栄一¹・望月佑哉¹ (¹茨城大院農学研究科,²ホクサン（株）)

P055 栽培圃場におけるイチゴの葉群光合成速度計測用試作チャンバーによる乾物生産能力の評価

○龍勝利^{1,2}・松野聡¹・古賀武¹・石松敬章^{1,3} (¹福岡農林試筑後,²九州大生物資源科学府,³福岡普指セ)

P056 イチゴの硬度と凍結解凍後のドリップ量の関係

○黒川将・岡田雄治・松本稔（アヲハタ（株）マーケティング・開発本部）

P057 花粉媒介昆虫の違いがイチゴの果実表面の生菌数に及ぼす影響

○厚見治之¹・浅尾浩史¹・西本登志¹・矢奥泰章¹・浅野竣介^{1,2}・嶋岡龍平¹・佐藤卓也³
(¹奈良農研セ,²奈良北部農林振興事務所,³（株）ジャパンマゴットカンパニー)

P058 GFP 発現イチゴ炭疽病菌の作出とイチゴ葉における感染動態観察手法の検討

○児玉孝弘・堀井学・八城和敏（茨城農総セ生工研）

P059 イチゴメジャーアレルゲン Fra a 1 の果実における部位特異性

○石橋美咲・宇野雄一（神戸大院農学研究科）

P060 Investigation of a biomarker for floral bud initiation in cultivated strawberry

○KHOEM, Koembuoy¹・太田垣駿吾¹・磯部祥子²・白武勝裕¹・松本省吾¹ (¹名大院生命農,²かずさ DNA 研)

P061 2 倍体イチゴ *Fragaria vesca* の FLOWERING LOCUS T 様遺伝子の発現解析

水品貴宏・○黒倉健（宇都宮大農学部）

P062 ベトナム中部高原における植物遺伝資源の探索

○嘉見大助¹・満留克俊²・Kien, Nguyen Van³・Hoai, Tran Thi Thu³
(¹農研機構北農研,²鹿児島農総セ大隅,³ベトナム Plant Resources Center)

P063 キュウリつる下ろし栽培における葉面積の品種間差異

○壹岐怜子（宮崎総農試）

- P064 キュウリ先端肥大症に及ぼす収穫時果実形質等の影響
○田代勇樹¹・佐藤達雄²・児島清秀³ (¹岩手農研セ,²茨城大国際フィールド農学セ,³新潟大農学部)
- P065 インドメロン遺伝資源系統のうどんこ病抵抗性評価
○葛谷真輝¹・加藤鎌司²・大寺宇織¹・八城和敏¹ (¹茨城農総セ生工研,²岡山大院環境生命科学研究所)
- P066 異なるメロン系統におけるネット形成期の果皮形質の評価
○Chen, Ruikun・葛谷真輝・八城和敏 (茨城農総セ生工研)
- P067 ユウガオ花粉の受粉で誘起されるスイカ単為結実関連遺伝子の RNA-seq 解析を用いた探索
○鈴鹿明広¹・杉山慶太²・長岡恒平¹・志村華子¹・実山豊¹・藤野介延¹・鈴木卓¹ (¹北海道大院農,²農研機構北農研)
- P068 地下灌漑システム OPSIS からの給水がトマトの生育に及ぼす影響
○佐々木英和・高橋徳・柳井洋介・栗山淳 (農研機構野菜花き部門)
- P069 促成トマト栽培で利用可能な土壌水分計の製作方法と適切な埋設方法
○山並篤史 (熊本農研セ)
- P070 ソバージュ栽培および主枝 1 本仕立て栽培における灌水が生育および収量に及ぼす影響
○堤淑貴¹・藤崎涼香²・寺澤瑞季²・桜庭康人³・元木悟² (¹明治大院農学研究所,²明治大農学部,³(株) SenSprout)
- P071 トマトにおける烈果発生と水泡症発生の品種間差異
○小澤千秋・鈴木克己・切岩祥和 (静岡大)
- P072 水環境がトマト水疱症発生に及ぼす影響
○深山陽子 (福島大農学群)
- P073 トマト葉先枯れ症発症予測に基づく養液管理の検証
○前田健¹・上野広樹²・小田桃子¹ (¹岐阜農技セ,²農研機構野菜花き部門)
- P074 トマト葉先枯れ症発症要因の探索および発症予測の栽培管理への適用
○上野広樹¹・前田健²・小田桃子²・寛雄介¹・山田瑞樹¹・松尾哲¹・長菅香織¹・今西俊介¹・浜本浩¹
(¹農研機構野菜花き部門,²岐阜農技セ)
- P075 側枝 2 本仕立て栽培が加工用トマトの成長および収量に及ぼす影響
○高森悟郎¹・金志勲¹・正兼隼人²・小倉舞²・太田勝巳² (¹島根大院自然科学研究所,²島根大生物資源科学部)
- P076 白色粉体塗装資材および遮光カーテンの利用が夏期のトマト施設栽培における温度と生育に及ぼす影響
○深尾聡¹・吉野恵²・西澤光義³ (¹千葉農林総研セ,²(株)花いちご,³カネコ種苗(株))
- P077 ハウス内日平均気温および昼夜温差の変化がトマトの生育に及ぼす影響
○和田楓・小番直樹・貝塚隆史 (茨城農総セ園研)
- P078 卓上引張試験機を用いたミニトマト 4 品種における成熟期ごとのへた離れ性の評価
永田寛¹・○寺澤瑞季¹・藤崎涼香¹・堤淑貴²・元木悟¹ (¹明治大農学部,²明治大院農学研究所)
- P079 塩ストレスがトマトの蒸散、出液速度、プロリン含量に及ぼす影響
○澤村武・切岩祥和・鈴木克己 (静岡大)
- P080 BA および CPPU の葉面散布がトマト小葉基部の葉柄組織からのダイレクトシュートの発生に及ぼす影響
○宮脇潤・伊達修一・寺林敏 (京都府立大院生命環境科学研究所)
- P081 単為結果性遺伝子 *pat-2* および *pat-k* が栄養生長器官および果実特性に及ぼす影響
○滝澤理仁・間合絵里・中崎鉄也 (京都大院農学研究所)
- P082 トマトの染色体断片置換系統における果実サイズと糖度の系統間比較
○松本千紘¹・加藤一幾²・池田裕樹³ (¹宇都宮大院地域創生科学研究科,²東北大院農学研究所,³宇都宮大農学部)
- P083 トマトのモデル品種 'Micro-Tom' の果実重を負に制御する QTL の同定
○西田敦・滝澤理仁・間合絵里・西村和紗・中野龍平・中崎鉄也 (京都大院農学研究所)
- P084 トマト高温肥大不良果発生関連遺伝子における高発現条件の解析
○長菅香織・上野広樹・寛雄介・松尾哲・今西俊介 (農研機構野菜花き部門)
- P085 異なる窒素栄養および温度条件下で栽培したパプリカ果実の元素動態に関する網羅的解析
○荒川竜太¹・藤本久恵²・亀岡悠香²・鳥山星呂²・渡部敏裕³・丸山隼人³
(¹東急建設(株),²北海道大農学部,³北海道大院農学研究所)
- P086 高温期ナス施設栽培におけるトレハロースの効果
○西村安代・筒井結夢・上野紗優果・森牧人 (高知大)
- P087 *Solanum violaceum* を利用したナスの細胞質置換系統の後代における低い花粉稔性
○鹿田裕介¹・有田隆史¹・岩吉真輝¹・渡辺久修¹・辻田有紀¹・モハマド ミザナル ラヒムカーン²・一色司郎¹
(¹佐賀大農学部,²琉球大農学部)
- P088 CAPS マーカーを用いた '弘前在来' トウガラシと 'ひも' トウガラシの交雑後代におけるカプシエイト含有個体の選抜
○白川結美子・坂野雄紀・佐々木萌絵・稲田雅史・佐藤純世・山田恵美・山田和輝・関村真梨歩・前田智雄・本多和茂
(弘前大農学生命科学部)

- P089 シンクロトロン光照射によるトウガラシ‘香川本鷹’の突然変異誘発
○窪田真喜・奥田延幸・高村武二郎（香川大農学部）
- P090 元素別イオンビーム照射によるアブラナ科園芸作物の突然変異誘発技術の検討
○井村晴美¹・成瀬和子²・西川浩二²・八幡昌紀¹・下川卓志³・諸岡直樹⁴・川口正代司⁴・富永晃好¹
(¹静岡大農学部,²静岡大技術部,³量研機構放医研,⁴基生研)
- P091 暗条件で胚軸を伸長させたハツカダイコンの胚軸部への送風が胚軸の肥大におよぼす影響
○鈴木茂敏（名城大農学部）
- P092 ダイコンの肥大要因の解明に向けた試験管内培養系の利用
○數田直也¹・藤野介延²・津釜大侑³・志村華子²（¹北海道大院農学院,²北海道大院農学研究院,³東京大アジアセ）
- P093 北海道北部の厳冬期無加温作型におけるチンゲンサイの品種比較
○地子立（北海道総研機構上川農試）
- P094 新規トレハロース化合物トレハンジェリンの施用がコマツナの品質に及ぼす影響
○矢嶋（嘉悦）佳子・小坂邦男（長瀬産業（株））
- P095 超音波処理がコマツナの高温ストレス耐性に及ぼす影響
○渡邊風斗¹・曾根良輔¹・神原崇嘉¹・鈴木克己²・切岩祥和²（¹静岡大院総合科学技術研究科,²静岡大農学部）
- P096 地下灌溉システム OPSIS からの給水によるコマツナの出芽
○松永明子・栗山淳・佐々木英和（農研機構野菜花き部門）
- P097 ワサビ超促成栽培における保温開始時期が生育および収量に及ぼす影響（第4報）
○日高輝雄・重藤祐司（山口農林総技セ）
- P098 ワサビ種子における適切なプライミング処理方法の検討
○曾根良輔¹・久松奨²・鈴木克己³・切岩祥和³（¹静岡大院総合科学技術研究科,²静岡農林技研伊豆農研セ,³静岡大農学部）
- P099 セルトレーのサイズと育苗期間がワサビ実生苗の形質と定植後の生育に及ぼす影響
○久松奨・稲葉善太郎・馬場富二夫（静岡農林技研伊豆セ）
- P100 GA₃ および低温処理の組合せはわさび乾燥種子の発芽を促進する
久松奨・稲葉善太郎・○馬場富二夫（静岡農林技研伊豆農研セ）
- P101 からし菜の栽培時期の違いが生育および GABA 含量に及ぼす影響
○棚原尚哉¹・石川千秋²・澤井裕典²（¹沖繩農研セ,²農研機構九沖農研）
- P102 新たな地域特産野菜として育成されたナバナ新品種の香り特性
○池浦博美・藤原一樹・小林伸雄（島根大）
- P103 種子への低温処理が‘あすっこ’の収穫期に及ぼす影響
○郷原優¹・春木和久²・塚本俊秀¹（¹島根農技セ,²元島根農技セ）
- P104 夏用葉ネギ品種における耐暑性と形態特性の次世代への伝達について
○藤井宏栄¹・西田美沙子¹・重藤祐司¹・執行正義²（¹山口農林総技セ,²山口大院創成科学研究科）
- P105 加工業務用葉ネギ栽培の生育予測における高温時の補正法
○松崎朝浩¹・植田舞世²（¹香川農革新支援セ,²香川農試）
- P106 簡易養液栽培での培土連続利用における小ネギ等の生育に及ぼす影響
○高橋勇人¹・澤里昭寿¹・鹿野弘²（¹宮城農園研,²宮城美里農改普セ）
- P107 山陰地域の気候におけるアスパラガス新栽培方法の品種及びマルチ色の差異
○椋重芳・石津文人（島根農業セ）
- P108 アスパラガスの採りきり栽培における根圏土壌のアレロパシー活性の評価
○石垣健太¹・津田湊子²・田口巧²・加藤綾夏²・長山弥生¹・小澤真央¹・綾部由紀乃¹・岡田和樹¹・松永邦則³・元木悟¹（¹明治大農学部,²明治大院農学研究科,³パイオニアエコサイエンス（株））
- P109 アスパラガス「採りきり栽培」および露地長期どり栽培における培土の有無が収量に及ぼす影響
加藤綾夏¹・○綾部由紀乃²・田口巧¹・長山弥生²・小澤真央²・石垣健太²・岡田和樹²・元木悟²
(¹明治大院農学研究科,²明治大農学部)
- P110 栽培方法、品種、部位の違いがアスパラガスの成分プロファイルに及ぼす影響
○甲村浩之¹・古川瑛貴¹・森川友里花¹・馬淵良太²（¹県立広島大生命環境学部,²県立広島大人間文化学部）
- P111 アスパラガス収穫期の貯蔵根のフルクトオリゴ糖含量変動とその代謝関連酵素活性及び遺伝子の変動
○上野敬司¹・吉田みどり²・川上顕³・園田高広¹・塩見徳夫¹・小野寺秀一¹
(¹酪農学園大院酪農学研究科,²農研機構北農研,³農研機構西日本農研)
- P112 アスパラガス栽培における建設足場資材を利用した園芸用ハウスの導入
○小川彰子¹・畔柳武司²・吉越恆²・池内隆夫¹（¹香川農試,²農研機構西日本農研）

- P113 北東北地域におけるタマネギ初冬どりに使用するセット球への高温処理が萌芽に及ぼす影響
○濱野恵・木下貴文（農研機構東北農研）
- P114 岩手県北部の秋まきタマネギ栽培に適する品種と栽培上の留意点
○横田啓^{1,2}（¹岩手県北農研,²岩手農研）
- P115 タマネギにおける日長・温度感応メカニズムに関する研究
○池田裕樹（宇都宮大農学部）
- P116 秋田県大潟村の秋植えタマネギ栽培における品種比較
○林智仁^{1,2}・本庄求³・伊藤昌⁴・菅原和幸⁵・植生望⁵・神田啓臣¹・今西弘幸¹・吉田康徳¹
（¹秋田県大生物資源科学部,²大潟村役場,³秋田農試,⁴秋田普及,⁵JA 大潟村）
- P117 ミニンジンの市場調査と栽培期間および栽植密度の違いが形態、収量および品質に及ぼす影響
谷本聡美¹・○宮本菜々子¹・渡辺智気¹・肌野宝星²・松永邦則³・元木悟¹
（¹明治大農学部,²明治大院農学研究所,³パイオニアエコサイエンス（株））
- P118 定植時苗質の違いがセルリー生育および収量に及ぼす影響
○中塚雄介・小松和彦・豊嶋悟郎（長野野花試）
- P119 筐生チップがほうれんそうの発芽に及ぼす影響
○中村剛（宮崎総農試畑作園芸支場）
- P120 ドローン搭載マルチスペクトルカメラを用いたブロッコリーの生育量推定
○瀧典明・吉田千恵・中村佳与（宮城農園研）
- P121 長野県における非結球レタス根腐病抵抗性品種の現地適応性及び一般特性評価
○小松和彦¹・石山佳幸²・藤永真史¹（¹長野野菜花き試,²長野野菜花き試佐久支場）
- P122 人工光型植物工場における 24 時間日長を活用した高付加価値野菜生産（第 3 報）日長および炭酸カルシウムを添加した培養液の窒素形態がリーフレタスの生育に及ぼす影響
畑直樹・○徐海竜（滋賀県立大環境科学部）
- P123 Gene expression profiling of candidate genes for pericarp browning in Lotus Root (*Nelumbo nucifera*) during long-term storage
○ウォララットカンジャン¹・今井海¹・規井榛香¹・石井貴²・篠原啓子³・宮本貴夫⁴・望月佑哉¹・井上栄一¹
（¹茨城大農学部,²茨城農総セ園研,³徳島農総技セ,⁴（株）れんこん三兄弟）
- P124 レンコンの種ハスにおける混種確認手法の開発
○堀井学¹・篠原啓子²・白澤健太³・久保山勉⁴・樋口洋平⁵・八城和敏¹
（¹茨城農総セ生工研,²徳島農総技セ,³かずさ DNA 研,⁴茨城大農学部,⁵東京大院農学生命科学研究科）
- P125 組織培養によるおたねにんじん「かいしゅうさん」の種苗生産技術の開発
○関根綾¹・佐竹大樹²・鈴木誉子¹（¹福島農総セ,²福島相双農林事務所）
- P126 水耕栽培および光環境制御による食用ウチワサボテンの生産性向上技術の開発
寺延亮太・岡本達哉・可知諭・舟木蓮・元場遼人・○吉金秀人・堀部貴紀（中部大応用生物学部）
- P127 栽植密度がトウキの品質・収量に及ぼす影響
○重藤祐司・安永真・日高輝雄（山口農林総技セ）
- P128 施肥条件がツクネイモの生育に及ぼす影響
○吉田康徳¹・一ノ関美空¹・林智仁^{1,2}・神田啓臣¹・今西弘幸¹（¹秋田県立大生物資源科学部,²大潟村役場）
- P129 薬用植物カラスビシャクの日本自生系統における葉緑体 DNA 変異
○井上幸祐¹・水ノ江雄輝²・尾崎行生²・田中宏幸³・松岡健⁴・吉田敏⁴・江口壽彦⁴
（¹九州大院生物資源環境科学府,²九州大院農学研究院,³山口東京理科大学薬学部,⁴九州大生環セ）

花 き

- P130 テッポウユリ類品種におけるユリ葉枯病に対する感受性の差異（第 2 報）
○齋藤隆明¹・藤井直哉¹・松田英樹¹・横井直人¹・今給黎征郎²・岡崎桂一³（¹秋田農試,²鹿児島農総セ,³新潟大）
- P131 紋紋病のキクから検出されるエマラウイルス様の塩基配列を有する RNA 分節
○久保田健嗣¹・柳澤広宣¹・山崎淳紀²・堀川英則³・恒川健太³・森田泰彰²（¹農研機構中央農研,²高知農総セ,³愛知農総試）
- P132 斑入りツバキの原因となるウイルスの探索
○寺田健人¹・片山寛則²・植松千代美¹（¹大阪市立大院理学研究科,²神戸大院農学研究科）
- P133 シンビジウム切り花の香气成分
○大久保直美（農研機構野菜花き部門）
- P134 精油の生産が著しく抑制されたラバンジン葉の特徴
○津呂正人・坂口瑠菜・友松航基・阿部洋司・浅田怜志（名城大農学部）

- P135 石川県育成品種フリージア「エアリーフローラ」の香気成分分析と官能評価
○清河文子^{1,2}・笹木哲也³・神宮英夫⁴ (1 石川農総研セ,² 石川県立大資源工学研,³ 石川工試,⁴ 金沢工業大感動デザイン工学研)
- P136 トリカブト属 (*Aconitum* L.) の花のアントシアニン
○立澤文見¹・迎千里¹・五十嵐元子²・菱田敦之²・颯田尚哉¹・本多和茂³・谷川奈津⁴
(1 岩手大農学部,² 医薬健康研 薬植セ,³ 弘前大農学生命科学部,⁴ 農研機構野菜花き部門)
- P137 低温処理およびアザシチジン処理がヤブツバキ「玉之浦」花卉の白覆輪形成に及ぼす影響
○坂坂朋美¹・水ノ江雄輝²・増田順一郎³・尾崎行生² (1 九州大院生物資源環境科学府,² 九州大院農学研究院,³ 宮崎大農学部)
- P138 エチレンを介したシンビジウム唇弁の着色誘導
○中塚貴司・宮川卓 (静岡大院総合科学技術研究科)
- P139 ダリア「ネッシュョウ」で発生する花卉の退色が矮化剤処理により抑制される可能性
○岡田啓雅¹・奈良拓也²・濱渦康範¹・北村嘉邦¹ (1 信州大院総合理工学研究科,² 信州大農学部)
- P140 色変わり花および複色花シクラメンにおける向軸面と背軸面での花色素発現の差異
○原陸浩・高村武二郎 (香川大農学部)
- P141 花色や香気成分が変化した芳香シクラメンの解析
○Loetratsami, Parisa¹・森村志保¹・野田尚信²・石坂宏^{3,4}・秋田祐介¹
(1 埼玉大院工学研究科,² 農研機構野菜花き部門,³ 埼玉農総研セ園研,⁴ 現：埼玉農技研セ)
- P142 シクラメン *Flavonoid 3'-Hydroxylase (F3'H)* 遺伝子の単離と解析
○康暁飛¹・野田尚信²・秋田祐介¹ (1 埼玉大院工学研究科,² 農研機構野菜花き部門)
- P143 萼弁化型八重咲きシクラメンにおけるフリンジ咲き、覆輪形質の発現と遺伝性
隈元大樹¹・水ノ江雄輝²・尾崎行生² (1 九州大院生物資源環境科学府,² 九州大院農学研究院)
- P144 サツキ複色花品種における花模様発現の安定性
○納塚千尋¹・水ノ江雄輝²・尾崎行生² (1 九州大院生物資源環境科学府,² 九州大院農学研究院)
- P145 ツツジ属植物の遺伝資源の活用に関する研究 (第45報) 葉緑体 DNA からみたツツジ園芸品種におけるキシツツジの関与について
○小林伸雄¹・中務明¹・ミンチャイピボンスニサ²・太田陽哉³・倉重祐二⁴
(1 島根大生物資源科学部,² 鳥取大院連合農学研究科,³ 島根大院自然科学研究科,⁴ 新潟県立植物園)
- P146 スイートピーの F₄ 集団における日持ち形質の分離状況
○中村薫・倉永泰代 (宮崎総農試)
- P147 カラーにおける DNA 量の種間差
○武藤景子 (福島農総セ)
- P148 テッポウユリとシンテッポウユリ品種間の交雑後代における諸特性
○今給黎征郎¹・岡崎桂一²・横井直人³・齊藤隆明³ (1 鹿児島農総セ,² 新潟大農学部,³ 秋田農試)
- P149 キクタクニゲクゲノム情報を活用した *Chrysanthemum self-compatible1* 遺伝子座のマッピング
○中野道治¹・谷口研至¹・増田優¹・住友克彦²・八木雅史²・中野善公²・久松完²・磯部祥子³・草場信¹
(1 広島大院統合生命科学研究科,² 農研機構野菜花き部門,³ かずさ DNA 研)
- P150 キク遺伝資源の超低温保存における両性電解質高分子ポリリジンの効果
○田中大介¹・松村和明² (1 農研機構遺伝資源セ,² 北陸先端科学技術大学院大)
- P151 トウテイランとサンイントラノオの種間交雑個体の各種特性
○加古哲也^{1,2}・東根千紗³・中務明³・郷原優¹・小林伸雄³ (1 島根農技セ,² 鳥取大院連合農学研究科,³ 島根大生物資源科学部)
- P152 キンモウツツジとミヤマキリシマとの交配における花芽非休眠性の遺伝
○嬉野健次・KhamMd. Mizanur Rahim (琉球大農学部)
- P153 ナデシコ属野生種の有する低温要求性開花機構の解明に向けた研究
○八木雅史¹・宇野雄一²・岡本花弥²・白澤健太³ (1 農研機構野菜花き部門,² 神戸大院農学研究科,³ かずさ DNA 研)
- P154 スイートピーにおける赤色 LED 電照による落蕾軽減効果
○河野舞¹・高取由佳¹・木下重信² (1 佐賀杵島農改善セ,² 木下農園)
- P155 温度条件の違いがサフラン (*Crocus sativus* L.) の開花および品質に及ぼす影響
池田佳織・長嶋豊之・黒沼尊紀・安藤匡哉・○渡辺均 (千葉大環境健康フィールド科セ)
- P156 芳香性バラ切り花品種で発生する奇形花の植物ホルモン処理による対策方法の検討
○金枝怜¹・山本将²・半田高³ (1 明治大院農学研究科,² 明治大研究・知財戦略機構,³ 明治大農学部)
- P157 ユリでは心皮で合成されるジャスモン酸が花被片の伸長展開に関与する
○深澤拓也・北村嘉邦 (信州大院総合理工学研究科)
- P158 花壇苗生産の作業労力軽減のための軽量培養土について
○室田有里¹・中島拓³・下江憲¹・山本幸洋¹・石黒成紀²・加藤正広¹
(1 千葉農林総合研究セ,² 大建工業 (株),³ 千葉農大)

- P159 スターチス・シヌアータの開花に及ぼす日射量と気温の影響
○金川真実・花田裕美 (和歌山農試暖地園セ)
- P160 寒冷地における低温期の EOD-heating 処理を用いた変夜温管理がスプレーカーネーションの開花, 収量および切り花品質に及ぼす影響 (第2報)
○佐々木厚¹・足立陽子¹・津田花愛¹・道園美弦² (¹宮城農園総研,²農研機構野菜花き部門)
- P161 環境条件の違いと EOD-heating 処理が輪ギクの開花と切り花品質に及ぼす影響
○山形敦子¹・平松裕邦²・渡邊孝政³・久村麻子⁴・道園美弦⁵
(¹秋田農試,²愛知農総試東三河農研,³愛知東三河農事,⁴長崎農技開セ,⁵農研機構野菜花き部門)
- P162 寒冷地における低温期の EOD-heating 処理を用いた変夜温管理が輪ギクの開花及び切り花品質に及ぼす影響 (第1報)
○足立陽子¹・佐々木厚¹・津田花愛¹・道園美弦² (¹宮城農園総研,²農研機構野菜花き部門)
- P163 キクの炭酸ガス施用と EOD 昇温の効果
○甲斐克明・米澤円穂 (大分農林水研指セ花き)
- P164 秋咲きスプレーギクの短日処理による7月開花作型の実証
○宮坂昌実 (長野野菜花き試)
- P165 高温による赤系キクの退色を回避するための夜間冷房と昼間の蒸発冷房の組合せによる効果
○道園美弦 (農研機構野菜花き部門)
- P166 キク, トルコギキョウおよびスイートピーの個葉が光合成能を発揮する栽培環境
○高取由佳¹・武富政敏²・坂井浩一郎²・津田正孝³ (¹佐賀杵島農改普セ,²杵藤花出荷組合,³津田花園)
- P167 トルコギキョウにおけるチップバーンの発生と Ca 分配および成長速度の関係
○黒沼尊紀¹・木下希美²・安藤匡哉¹・渡辺均¹ (¹千葉大環境健康フィールド科セ,²千葉大園芸学部)
- P168 暖地におけるトルコギキョウの育苗条件がロゼット化と開花に及ぼす影響 (第2報) 育苗中の夜間冷房温度, 定植後環境とロゼット化の関係
○花田裕美 (和歌山農試暖地園セ)
- P169 発表取り消し
- P170 水耕栽培と環境制御によるエディブルフラワーの品質向上
寺延亮太・○上垣菜穂・勝綾香・高橋佑実・伏屋颯太・松尾卓実・堀部貴紀 (中部大)
- P171 多肉植物の徒長抑制及び品質向上を目指した基盤的研究
牧田真歩・岡本達哉・可知諭・舟木蓮・○元場遼人・吉金秀人・堀部貴紀 (中部大応用生物学部)
- P172 育苗期間と根域容量がデルフィニウム・シネンシス系の抽苔および切り花形質に及ぼす影響
○後藤丹十郎¹・甲斐鈴弥¹・田中義行²・安場健一郎¹・吉田裕一¹
(¹岡山大院環境生命科学研究所,²京都大院農学研究科)
- P173 竹粉による土壌リサイクルの可能性とリサイクル土壌の微生物相について
○札幌高志^{1,2}・菊川裕幸^{3,4}・豊田正博^{1,2}・金子みどり^{1,2}・田淵美也子^{1,2}
(¹兵庫県立淡路景観園芸学校,²兵庫県大院緑環境景観マネジメント研究科,
³西日本短大緑地環境学科,⁴京都大院農学研究科)
- P174 冬季寡日照下における二酸化炭素と5-アミノレブリン酸含有肥料の施用がアルストロメリアの生育に及ぼす影響
○出貝諒河・梶悠生・森志郎 (酪農学園大農食環境学群)
- P175 ラナンキュラス塊根の大きさが切花および塊根の収量に及ぼす影響
○藤原亜紀・村上恭子 (香川農試)
- P176 グルコース添加処理がスイートピー切り花の花の日持ちと水ポテンシャルに及ぼす影響
○廣瀬徹¹・川角由佳²・金枝怜¹・半田高² (¹明治大院農学研究科,²明治大農学部)
- P177 Ethylene-induced abscission layer development of petals in cut dahlia inflorescences
○楊颺¹・武永駿²・土井元章¹ (¹京都大院農学研究科,²京都大農学部)

利 用

- P178 ODS カラムを用いた HPLC による青果物のアスコルビン酸分析
○渡部由香・濱中大介 (鹿児島大農学部)
- P179 特定の揮発性成分を指標とした農産物加工法の検討
○矢野原泰士¹・有福一郎²・小谷幸敏²・富野真司¹・西田優香¹ (¹南九州大健康栄養学部,²(地独)鳥取産技セ食研)
- P180 MA フィルム包装がレンコンの貯蔵性に及ぼす影響
○渡辺万里¹・井上栄一²・山田毅³・宮本貴夫⁴・石井貴¹
(¹茨城農総セ園研,²茨城大農学部,³住友ベークライト(株),⁴(株)れんこん三兄弟)

- P181 芳香性植物の利用方法の違いにおける心理・生理的効果に関する研究
○丸山絵梨香・岩崎寛（千葉大院園芸学研究所）
- P182 スイートバジル貯蔵時の低温障害発生に及ぼす品種と系統間差の影響
○野口有里紗（東京農大農学部）
- P183 Shelf-life extension of cabbages using moisture proof corrugated box
○Wambrauw, Daniel・佐藤 裕子・杉野直輝・松元咲樹・北澤 裕明（農研機構食品部門）
- P184 在来品種を含むサツマイモのカロテノイドおよびアスコルビン酸含量の品種間差
○前田節子¹・浅井辰夫²・富田涼都²・花森功仁子³・松浦直毅⁴・柴田康佑⁵・柴田美穂⁶・望月裕子¹・加藤雅也²
(¹静岡英和学院大短大,²静岡大農学部,³(株)ジェネテック,⁴静岡県立大国際関係学部,⁵天竜高等学校,⁶小笠高等学校)
- P185 0°C以下での海上輸送によるイチゴ輸出の可能性
○遠藤（飛川）みのり^{1,2}・曾根一純¹・大石高也³・小林俊裕⁴・文美玲⁴・佐藤優介⁴・田中慎司⁵
(¹農研機構九沖農研,²農研機構西日本農研,³大石産業,⁴日本通運,⁵ナックス)
- P186 Effect of exogenous ethylene, wrapping and low temperature storage on quality attributes of 'Pione' and 'Muscat Bailey A' grapes
○Azimi, Azimullah¹・Mitalo, Oscar Witere¹・Kondo, Yuki¹・Tokiwa, Sumire¹・Oji, Natsumi²・Otsuki, Takumi¹・Kazimi, Abdul Hakim¹・Ushijima, Koichiro^{1,2}・Kubo, Yasutaka^{1,2}
(¹Graduate School of Environmental and Life Science, Okayama University,²Faculty of Agriculture, Okayama University)
- P187 カキ '中谷早生' のシンガポールへの輸出実証試験
○古田貴裕¹・和中学¹・池永裕一²・河井崇³・深松陽介³・福田文夫³・中野龍平³
(¹和歌山果樹試かき・もも研,²三井化学(株),³岡山大院環境生命科学研究所)
- P188 カキ収穫後の果皮色と水溶性呈味成分の経時変化
○芦野祐尋^{1,2}・若山正隆¹・日向大樹³・曾我朋義¹・富田勝¹
(¹慶大先端生命研,²(公財)庄内産業振興セ,³JA庄内たがわ)
- P189 MA包装の有無がブルーベリー2種および種間雑種2系統の貯蔵性に及ぼす影響
望月佑哉¹・○目黒亜依¹・宮下千枝子²・黒川雄太³・赤尾勉³・井上栄一¹
(¹茨城大農学部,²東京都農総研,³(株)ベルグリーンワイズ)
- P190 リンゴ成熟果実のポリフェノール含量および成長過程におけるポリフェノール含量の変化
○長田恭一¹・小海美帆子¹・佐藤早希²・藤田知道²・林田大志² (¹明治大農学部,²弘前大農生学部)
- P191 クリにおけるポリフェノール含有量の品種間差と形質間の相関
○鈴木結花・高橋是成・望月佑哉・井上栄一（茨城大農学部）
- P192 ウンシュウミカン果実におけるカロテノイド代謝関連遺伝子に及ぼす植物ホルモン処理の影響
○稲葉迅¹・久高凜¹・馬剛^{1,2}・張嵐翠²・八幡昌紀^{1,2}・山脇和樹^{1,2}・松本光³・加藤雅也^{1,2}
(¹静岡大院総合科学技術研究科,²静岡大農学部,³農研機構果樹茶部門)
- P193 ウンシュウミカンの培養したフラベドにおけるカロテノイド集積に及ぼすアブシジン酸受容体阻害剤の影響
○北村陽¹・馬剛^{1,2}・張嵐翠²・八幡昌紀^{1,2}・山脇和樹^{1,2}・轟泰司^{1,2}・竹内純^{1,2}・加藤雅也^{1,2}
(¹静岡大院総合科学技術研究科,²静岡大農学部)
- P194 '太田ポンカン' のフラベドにおけるフラボノイド代謝に及ぼす植物ホルモンの影響
○山本梨沙・馬剛・張嵐翠・八幡昌紀・山脇和樹・加藤雅也（静岡大院総合科学技術研究科）
- P195 青色光を照射したバレンシアオレンジの培養したフラベドにおけるマイクロアレイ解析
○北谷友梨佳¹・二村実里¹・馬剛^{1,2}・張嵐翠²・八幡昌紀^{1,2}・山脇和樹^{1,2}・島田武彦³・藤井浩³・遠藤朋子³・加藤雅也^{1,2}
(¹静岡大院総合科学技術研究科,²静岡大農学部,³農研機構果樹茶部門)
- P196 ブラッドオレンジ培養砂じょうにおけるフラボノイド及びアントシアニン代謝に及ぼす温度の影響
○馬剛・長澤瑠花・張嵐翠・八幡昌紀・山脇和樹・加藤雅也（静岡大農学部）